

平成 30 年度 第3回 八百津町地域公共交通協議会(会議要旨)

日 時	平成 30 年 11 月 21 日(水) 午後 1 時 30 分～午後 3 時 00 分
場 所	役場防災センター2 階会議室
出席者	会長、協議会委員 11 人、代理委員4人、事務局 6 人
内 容	<p>1. あいさつ</p> <p>2. 報告事項</p> <p>(1) 観光来訪者アンケート結果について</p> <p>(2) 地域懇談会について</p> <p>3. 協議事項</p> <p>(1) 八百津町地域公共交通網形成計画策定状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・八百津町の公共交通の課題について ・基本方針と実施施策(案)について <p>(2) その他</p>
主な質疑応答	<p>2. 報告事項</p> <p>(1) 観光来訪者アンケート結果について</p> <p>(2) 地域懇談会について</p> <p>(委員) 懇談会の参加者はどのような方か。</p> <p>→(事務局) 地区や老人クラブの役員の方、会社勤めの方、高齢者の方で、男性6割、女性4割位であった。</p> <p>3. 協議事項</p> <p>(1) 八百津町地域公共交通網形成計画策定状況について</p> <p>(委員) 懇談会で、コミュニティバスを廃することを匂わせるような説明をして空白地が選ばれたのか。</p> <p>→(事務局) バスの廃止を前提として話はしておらず、地域の方から地域運行を行うという意欲があった。それらの意見を踏まえ事務局で検討した。</p> <p>→(委員) 自分も懇談会に4地区参加したが、空白地ありきでの進行ではなく、地域のニーズとして、デマンドやドアツードアでという要望やバス停まで遠いという意見があり、それらは本日の資料に反映されている。現実として東部は本当に困っているのが実情である。</p> <p>(委員) 検討結果については、地域にフィードバックすべきであるが、いつするか。</p> <p>(事務局) 今後検討していく。</p> <p>(委員) バスの利用促進とあるが、誰をどこにどうやって行きたいのか分析しその結果を図に示したほうが良い。</p> <p>→(事務局) 交通弱者 高齢者、学生、障がい者の交通手段を第一として考えている。また、外からの観光などでの来訪者の足もまちづくりから</p>

必要と考えている。

(委員) 周辺の市町や交通事業者との調整は進んでいるのか。

→(事務局) 交通事業者とは2回ほど話はしており、関係市町は今回の会議で方向性が定まった上で調整していく。

(委員) 今回の案は決まったものではなく、これで調整を進めていくということか。

→(事務局) 今回示したのは今後このように調整していくという素案を示した。今回の会議で、この方向で進めて良いとなれば、関係者と調整を進めていく。

(委員) 空白地のエリアについて、福地と久田見を1つにした理由はあるのか。

→(事務局) 現時点の構想として、久田見について4台の車両を配置して、今の利用者数から福地で1台、久田見で2台、予備1台という体制で運営できると考えている。また、地形的な条件から福地・久田見と潮南で生活圏が分かれるということもある。

(委員) エリアについては地域の方の意見や運行の仕方などを踏まえて決めれば良いのでここで議論しなくても良いと思う。個別事業の中身を決めるタイミングがいつなのかを示してもらったほうが良い。場合によっては書面で共有でも良い。

(委員) 観光客は土日に来られるが、巡回バスは対応するのか。また、お試し乗車券はどのくらいの範囲でやれるのか。免許返納者への特典はどうか。

→(事務局) 具体的にはこれから検討するので、詳細は詰めていない。免許返納者については東部地区のきめ細かな対応を充実して免許返納につなげていきたい。

(委員) 交通事業者の立場から言うと、運転手が不足しているので休みの確保を土日で調整している。八百津町内の運転手も今後定年を迎えるが、可児から呼ぶと通勤時間などいろいろ問題が出てくるので、良い方法をこれから検討していきたい。

(委員) 本日の会議では事務局案について承認するというのではなく、更に整理したものを次の会議に提示してもらおうということでしょうか。

(委員) 実施施策(案)までのところについては問題ないと思う。再編案についてはもっと詰める必要がある。その方針を次回示してもらおうことで良いと思う。

(委員) 本日の内容については決定ではなく、もう少し掘り下げていき、次回の会議で案を決定していくこととする。